

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	前立腺癌に対する重粒子線治療の初期臨床成績の検討
	研究目的	放射線治療は前立腺癌に対する根治的治療のひとつとして重要な役割を担います。重粒子線治療は従来の X 線治療と比較して良好な線量分布と、高い生物学的効果を持つため、有害事象を低減しつつ、高い治療効果が期待されます。当センターでは 2015 年から前立腺癌に対する重粒子線治療を開始しました。その初期臨床成績について後方視的に解析し、前立腺癌に対する重粒子線治療の有効性および安全性について検討します。
	研究対象者	2015 年 12 月から 2017 年 12 月までに当院で重粒子線治療を開始した前立腺癌の患者さんを対象とします。
	研究期間	西 暦 2020 年 1 月 22 日 ~ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(重粒子線治療計画デ <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 ータ)
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	高草木 陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	放射線治療科 重粒子線治療部門
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	とくに共同研究機関はありません。